

船舶事故等調査報告書

平成24年3月29日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011長第94号	
事故等種類	運航不能（推進器障害）	
発生日時	平成23年9月18日（日） 04時30分ごろ	
発生場所	熊本県天草市天草 <sup>しも</sup> 下島南西方沖 天草市所在の牛深 <sup>うしぶか</sup> 大島灯台から真方位212°10海里付近 （概位 北緯32°02.5′ 東経129°51.8′）	
事故等調査の経過	平成23年10月6日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	遊漁船 さざんくろす、4.3トン	
船舶番号、船舶所有者等	293-17515熊本、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	推進器軸に擦過傷、推進器翼先端を曲損、錨爪を折損	
事故等の経過	<p>本船は、船長1人が乗り組み、釣り客5人を乗せ、船首約0.8m、船尾約1.2mの喫水で平成23年9月17日20時30分ごろ熊本県宇城市三角港を出港し、天草下島南西方沖において遊漁中、錨泊状態から釣り場を移動するため、錨索を約18m残して錨をぶら下げた状態として船首を北北西方に向け、機関を後進にかけて約2～3ノット（kn）の速力で移動したのち、後進行きあしを止めようと機関を前進にかけた18日04時30分ごろ錨索が推進器に絡まって航行不能となった。</p> <p>本船は、船長が海上保安庁に救助を要請して巡視艇にえい航されたのち、僚船に引き継がれて天草市牛深漁港に入港し、潜水士により推進器に絡んだ錨索の除去及び損傷調査等が行われた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り一時雨、風向 北北西、風力 4</p> <p>海象：波高 約0.5m、潮流 南流 約2kn</p>	
その他の事項	<p>船長は、本インシデント発生時、潮流の影響を考慮していなかった。</p> <p>本インシデント発生場所付近の水深は、約100mであり、錨索を完全に巻き上げるためには約10分を要する状況であった。</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	あり
	判明した事項の解析	<p>本船は、天草下島南西方沖において遊漁中、揚錨して釣り場を移動する際、船長が、錨を海中に下げた状態で機関を後進にかけて移動後、後進行きあしを止めようとして機関を前進にかけたことから、潮流により船尾方向に流されていた錨索が推進器に絡み、主機の運転が不能となり、運航不能になったものと考えられる。</p>
原因	本インシデントは、夜間、本船が、天草下島南西方沖において遊漁中、	

	<p>揚錨して釣り場を移動する際、船長が、錨を海中に下げた状態で機関を後進にかけて移動後、後進行きあしを止めようとして機関を前進にかけたため、潮流により船尾方向に流されていた錨索が推進器に絡み、主機の運転が不能となったことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>船長は、本インシデント後、揚錨して移動する際は、錨索を完全に巻き揚げてから機関を使用することとした。</p>